

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37593	
事業名	ホワイトイルミネーション・ミュンヘンクリスマス市事業費						
評価担当課	所属名	経)観光・MI 観光・MICE					
	課長名	西田	担当者名	南・森	電話番号	211-2346	
施策名	主	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他					
	目的	短期	・さっぽろホワイトイルミネーションにおいて、メディアアーツを活用した新たなイルミネーション等を設置するほか、参加型イベントの実施を行い魅力を高める。・ミュンヘンクリスマス市の開催と運営(集客交流イベントとしての魅力アップ)・駅前通の北1条から北3条部分への装飾を実施し魅力を高める。				
		長期	・観光閑散期である冬場の観光振興、来札観光客の増加のため。 ・会場周辺中心市街地への輪の広がりによる、街全体としてのイベントの盛り上がりやおもてなし感の醸成のため。				
	取組内容	観光閑散期である初冬の来札観光客増加のため、さっぽろホワイトイルミネーション実行委員会へ負担金を交付する。 ①平成30年度のコンペで決定した会場展開案に基づく、ホワイトイルミネーション会場リニューアル及び制作したオブジェの維持・保管・設置 ②ミュンヘンクリスマス市in Sapporoの開催③夜景を軸とした観光コンテンツの充実を図り、札幌夜景の魅力創出及び魅力発信を行う。					
	実施結果	・第41回さっぽろホワイトイルミネーションを実施 大通公園、駅前通:2021年11月19日~2022年2月12日 南一条通、北3条広場、札幌駅南口駅前広場:2021年11月19日~2022年3月14日 ※第20回ミュンヘン・クリスマス市in Sapporoはオンライン開催					
事業実施における工夫点	事業の実施にあたっては、実施主体である実行委員会と綿密に打ち合わせを行い、イベントの魅力アップを図った。						
対象者	市民、観光客、市内外の商業者・観光業者			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	政令市をはじめ、多くの自治体でイベントに対する補助を実施している。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	105,300	112,000	108,900	112,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.5	0.5	0.5	0.4	
人件費	3,600	3,600	3,600	2,880	
計(事業費+人件費)	108,900	115,600	112,500	114,880	
事業費の内訳	令和3年度決算	さっぽろホワイトイルミネーション実行委員会への負担金 108,900千円			
	令和4年度予算	さっぽろホワイトイルミネーション実行委員会への負担金 112,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	大通公園でのイベント実施会場数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	6会場	6会場	6会場	6会場	
活動指標2	指標名	駅前通会場規模(南4~北4)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	南4条~北4条	南4条~北4条	南4条~北4条	南4条~北4条	
成果指標1	指標名	ミュンヘン・クリスマス市来場者数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	開催中止	1,500,000人	オンライン開催	1,500,000人	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	さっぽろホワイトイルミネーション(2021年11月19日~2021年3月14日)を開催。コロナ禍においても感染拡大防止対策を実施しながら、日本三大イルミネーションとして市民に憩いの場を提供した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	札幌市が日本新三大夜景都市に選定され、さっぽろホワイトイルミネーションも日本三大イルミネーションに引き続き選定されたことを受け、さらなる魅力アップのため、大通会場だけではなく、駅前通や南一条通、北三条広場、札幌駅前南口広場と一体となって事業を盛り上げている。また、イルミネーションとミュンヘンクリスマス市を一つの事業とすることにより、クリスマス市の賑わいをまち全体へと広がりを持たせている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	実施主体は実行委員会が担っており、効率性や民間手法を取り入れるという観点からも適切である。また、運営委託先については、コンペにより民間事業者を選定しており、さらなる魅力向上と経費削減の両立を図ることができている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	ミュンヘン・クリスマス市は令和2年度は中止、3年度はオンライン開催となったものの、令和元年度には目標来場者数を達成し、ホワイトイルミネーション各会場とともに賑わいを見せており、満足度は高いと考えている。ミュンヘン・クリスマス市ではSDGs達成に向けた取り組みにも力を入れており、環境保全推進への関心の高まりにも込えられている。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	・会場周辺の商業ビルや店舗との連携 ・イルミネーションとクリスマス市の一体感の向上 ・先端技術を用いた体験型イルミネーションの導入				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	感染拡大防止対策を意識したイベントの実施		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	年々来場者数も増加しており、市民・観光客の満足度が高いと考えているため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 現状維持での開催を基本としつつ、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた取組を検討していく。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 現状の予算規模の中でも、さらなる魅力を高められるよう実施していく。		見直し効果額	0